

日本原子力学会 熱流同部会  
熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ検討ワーキンググループ  
安全評価サブワーキンググループ  
第1回幹事会 議事録 (平成 29 年 12 月 25 日開催)

日時 平成 29 年 12 月 25 日 (月) 13:15～17:30  
場所 JAEA 東京事務所 富国生命ビル 20 階 第 6 会議室  
出席者 宇井幹事 (電中研)、秦泉寺幹事 (MHI)、鈴木幹事 (エネ総工研)、中村幹事 (JAEA)、  
西田幹事 (JAEA)、山田幹事 (日立 GE) (敬称略、五十音順)

議題

- (1) SWG の背景・経緯と実施目標について
- (2) 幹事会の役割分担
- (3) ローリングの方針 (案)
- (4) 日程調整、今後のスケジュール

配布資料

- 資料① 第1回幹事会 議事次第 (案)
- 資料② 熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ 2017(熱水力 RM2017) 28年度報告書 (各自持参)
- 資料③ 資料②に対するコメントメモ (宇井幹事作成)

<議事内容>

1. SWG の背景・経緯、実施目標について

2011 年 3 月の 1 F 事故の教訓を踏まえて、世界最高水準の安全性に寄与する技術による継続的な安全性の向上に資するため、2015 年 3 月に「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ 2015 (改訂版)」<sup>1</sup>が整備された。

その後、同熱水力 RM のローリング (フォローと更新) を継続的に行うため、2016 年 9 月に「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ検討WG」が設置され、2017 年 3 月に「熱水力安全評価基盤技術高度化戦略マップ 2017」<sup>2</sup>が策定された。ただし、この改定は短期間で行われたこともあり、SA の技術マップ (付録 1 として収録)、基盤技術の技術マップ (2.3.1 節)、及び安全評価 (2.3.2 節) に係る部分の更新はマイナーな範囲に留められ、本格的な更新は今後の課題として残された。

今後、来年度末を目標に熱水力 RM の更新を行うため、安全評価 SWG では同 2.3.2 節【技術マップ (課題整理表)、説明】及び 2.4.2 節【個票 (課題調査票) と優先度】を中心に改

<sup>1</sup> <http://www.aesj.or.jp/~thd/committee/TH-WG/TH-WG.pdf>

<sup>2</sup> [http://www.aesj.or.jp/~thd/committee/TH-RM/TH-RM\\_r.pdf](http://www.aesj.or.jp/~thd/committee/TH-RM/TH-RM_r.pdf)

訂を目指す。

## 2. ローリングの方針（案）

- (1) 安全評価に関連する 2.3.2 節「技術マップ（課題整理表）」及び 2.4.2 節「課題調査票」を中心に更新（ローリング）するにあたり、まずは記載フォームおよび記載項目を分かりやすく再整理し、かつ内容の充実を図るべく、各自持ち帰り検討することとした。
- (2) 前項で作成した「技術マップ（課題整理表）」および「課題調査票」の再構成案を基に第 1 回 SWG を開催し、委員会承認後、春の年会@阪大で開催予定の WG に報告して、各論の充実化を図りつつ、内容の分担を行なって作業を開始することとする。
- (3) 技術マップ（課題整理表）などの検討にあたっては、基盤技術の技術マップおよび平成 28 年度報告書に添付されている SA の技術マップ（付録 1）を参考にすが、熱水力 SWG でこれらの更新が図られるため、同 SWG（幹事会）と緊密に連絡を行う。
- (4) 平成 28 年度報告書の課題整理表と付属の説明では、全般的に各課題の説明が大雑把な記載に留まっていることから、今回の更新にあたっては分類方法を見直し、各課題の本質的な部分の説明を詳述化するとともに、現在の最新知見を反映させる必要がある。どこまで詳細に分類していくかについては今後の審議の中で具体化する。その際、新しい課題整理表には外的事象の追加も検討する。
- (5) (4)と関連して、文献調査についても記載が不十分（根拠となる文献情報が明記されていない等）であり、今回の更新を機に充実化する必要がある。⇒課題整理表にも参考文献の項目を設ける等の対策を検討する。
- (6) (4)と関連して、外的事象に関する課題調査が不足しており、今回の更新で充実化する必要あり。その際、計算科学技術部会との協力を活かすこととする。
- (7) 上述のとおり、調査対象が広範囲かつ各分野の調査内容が深くなる可能性が高いことから、幹事 6 名だけでは対応できない場合も想定される。そのような場合には委員の方々にも協力いただくこととしたい。

以上